



開人会通信

Vol. 39 / 2017年12月発行

プランニング開

仙台市青葉区北山1-5-22 TEL/FAX022-276-8840

URL <http://p-kai.com>

e-mail kai@alpha.ocn.ne.jp

パーティーの最初はキャンドルサービス

2017年12月16日(金)～21日(木)

アトリエ自遊楽校 楽楽パーティー

プランニング開 1F スタジオ



●アトリエ自遊楽校作品展
3月21日(水)～25日(日)
宮城県美術館地下県民ギャラリー
入場無料

3月には宮城県美術館で作品展を行います。2歳児から小学生までの作品が約1000点展示されます。ぜひお越しください！

「あそびじゅつ」を「シンセプトに、「感じる力」や「表現力」、「創造力」を育む空間です。2歳児から小学6年生までの約200名の子どもたちが、週1回自分のクラスに通ってきます。

12月は大人気の「楽楽パーティー」！みんなでおいしいご飯を食べた後は、クラスごとの出し物の時間です。子どもたちはみんな思い思いの姿に大変身して、連日盛り上がりのパーティーでした。

出し物は、昔話や絵本のお話をもとにして、子どもたちが意見を出し合つてオリジナルのストーリーをつくつていきました。予想外の展開に、大人も子どもも大爆笑！毎年恒例、スタッフの出し物も大好評でした。





立派なカエルになりました！

2017年11月4日（土）、5日（日）

ミュージカル 小川の歌がきこえるよ

エル・パーク仙台 ギャラリーホール



謎のラッパー「K」

● URL
<https://www.facebook.com/kai.kodomo.m/>



客席の子どもたちの笑顔

アトリエ自遊楽校「ミュージカルクラス・STEP」の第3回公演「小川の歌がきこえるよ」を開催しました。2日で3公演の開催でしたが、すべて満席！のべ約700の方々にお越しいただきました。

今回の舞台は小川の小学校。練習嫌いな8匹のオタマジヤクシが、人間の女の子やリズムの妖精、虹の妖精たちとの出会いの中で、メロディーやリズムを身に付け、最後は立派なカエルになりました。見事なハーモニーを響かせるというストーリーです。

ボイスパークッシュョンやラップを織り交ぜながら物語の案内役を務める、謎のラッパー「K」。新田どん扮するウズの魔法使い（オズではありません）との漫才では、華麗なバク転も披露してくれました。

感動のフィナーレでは、プロの劇団に勝るとも劣らない子どもたちの演技に胸を打たれ、涙が止まらなくなる観客の姿も多く見受けられました。

公演の様子の一部を、プランニング開発ミュージカルのフェイスブックで公開中！ どれも子どもたちが輝いている写真ばかりなので、ぜひご覧ください。



新田どんも活躍！



4日間でつくったとは思えない、大感動のステージ



ミュージカル大成功！



竜宮オアシスの乙姫様。精一杯踊ります！

2017年12月10日（日）

南双葉こどもミュージカル おー、サバンナ！

福島県・楢葉町コミュニティセンター

今回の舞台はアフリカのサバンナ！ 篠笛の向こうの世界には大草原が広がり、たくさんの動物たちが登場しました。絵本作家・あべ弘士さんが手掛けた舞台美術がステージを彩ります。

会場で観ている子どもたちはすっかりお話の世界に引き込まれ、ハラハラドキドキ。大人たちはステージの子どもたちの一所懸命な姿に感動し、涙、涙。最後はみんなで大合唱！会場の心がひとつになりました。

顔合わせから本番まで、わずか4日間しかありませんでしたが、下は3歳から上は小学6年生まで精一杯がんばり、笑いあり涙ありの大感動のステージとなりました。子どもたちがふるさとへの思いを語るシーンでは、感極まつて涙する姿もありました。

福島県は、今までに復興のまつた中。まだまだ大変な地域ですが、子どもの笑顔・元気プロジェクトは、これからも被災地の子どものために活動し続けます。

福島第二原子力発電所のある楢葉町は、2015年9月に避難指示が解除されたばかり。ようやく今年の4月から学校が再開された楢葉町の子どもたちにとって、地域や年齢の壁を越え、みんなで協力してひとつ舞台を作り上げる体験は、かけがえのない経験となりました。

福島第二原子力発電所のある楢葉町は、2015年9月に避難指示が解除されたばかり。ようやく今年の4月から学校が再開された楢葉町の子どもたちにとって、地域や年齢の壁を越え、みんなで協力してひとつ舞台を作り上げる体験は、かけがえのない経験となりました。



ダンスのワークショップ



自分を表現するって、楽しい！



竹でできたホテル「グリーンビレッジ」



デンパサールのチルドレンフォーラムを視察



グリーンスクールを視察

2017年11月22日(水)～26日(日)

こども環境学会研修旅行 バリ島

インドネシア・バリ島

新田さんが理事を務める「こども環境学会」の方々と一緒に、インドネシア・バリ島へ行つて来ました。国を挙げて子どもにやさしいまちづくりに取り組んでいるインドネシアは、参画によるまちづくり政策のひとつ、子ども参画の先進国。現在のジョコ大統領になつてから、子ども関係の予算が50倍になりました。

インドネシア政府が進める、子ども地区の会長は、なんと14歳！子どもたちが「こうしたらこの国はもっと良くなる」と政府に提案し、その結果、12歳以下の子どもの義務教育化が進んだり、禁煙マークが制定されたりしました。子どもたちが力を合わせ、未来の住みよいインドネシアづくりに貢献しています。自分の国やまちのことを子どもたちから考える経験は、いずれ国が豊かになることにつながります。

世界的講演会TED(テドカンファレンス)でも話題になった、グリーンスクールも視察しました。校舎は2階建てで壁や窓がなく、すべて竹でできています。環境教育に力を入れていて、学校のコンポストトイレの排泄物から肥料を作つて野菜を育てたり、蜜蜂からバイオ燃料を作つたり、太陽光発電と水力発電で電気をすべてまかなつたりしています。体験学習やアクティブラーニングも進んでいます。一般的な勉強はもちろん、プロのサーファーやダンサー、アーティストなどから様々な分野を学ぶこともできます。

次世代のリーダーを育成する、チルドレンフォーラムやグリーンスクール。学ぶべきものがたくさんあり、実りある研修旅行となりました。



タガス村との交流



デンパサールのチルドレンフォーラムの会長



中はこんな感じです